

経尿道的尿管結石除去術（腰椎麻酔）を受ける方へ

患者氏名 _____ 様

病状説明：尿管に結石があります。疼痛や血尿の原因になっていると考えられます。

退院基準：①血尿スケール2以下である ②自己排尿ができる ③発熱(37.5℃以下)がない ④麻酔の影響(頭痛・嘔気)がない ⑤退院後の生活について理解ができている

	外来	入院当日 (/)	手術当日(術前) (/)	手術当日(術後)	術後1日目 (/)	術後2日目 (/)	術後3日目 (/) ~ 退院日
検査・治療・処置	●血液検査 ●胸部・腹部レントゲン撮影 ●心電図検査 上記の検査を行います。	□午前手術の場合 左手に点滴用の管を入れます。 ●リストバンドに名前と	□午後手術の場合 10時頃、左手に点滴用の管を入れます。 ●手術着に着替えます。	●体温・脈拍・血圧を手術直後から、定期的に測ります。 ●腰椎麻酔が醒めてきているか確認します。 ●尿の性状を確認します。	●体温・脈拍・血圧を1日3回測ります。 ●採血があります。 ●尿の性状を確認します。	●体温・脈拍・血圧を1日1回測ります。	
薬剤	● 普段内服しているお薬がありましたらお知らせ下さい。 	●21時に下剤2錠をお飲み下さい。	□午前手術の場合 7時頃から点滴を始めます。 □午後手術の場合 10時頃から点滴を始めます。	●点滴を行います。 ●抗生剤の点滴を行います。 ●痛みがある時は痛み止め、熱がある時は解熱剤を使うことがあります。 ●吐き気があれば看護師にお知らせ下さい。	●点滴終了後、点滴の管を抜きます。		
安静度・リハビリテーション		●普段通りの生活ができます。	●歩いて手術室に行きます。	●術後6時間まではベッド上安静です。 ●帰室6時間後ふらつきなく血圧・脈拍等に異常なく、気分不快がなければ看護師が付き添いリハビリ歩行ができます。 □食事の時は、頭を少し上げます。			
排泄	●制限はありません。	●制限はありません。		●手術後尿道に管が入っています。 ●術後6時間まではベッド上排泄ですその後、麻酔がさめて歩行ができれば普段通り排泄できます。	●尿道に管が入っています。		●尿の管を抜きます。
清潔	●入浴できます。	●シャワー浴して下さい。	●時計、指輪等のアクセサリ、入れ歯等 はずせるものははずしてください。 ●化粧、マニキュアはしないで下さい。	●体を拭き、パジャマに着替えます。		●シャワー浴が可能です。 	●シャワー浴が可能です。
食事・栄養管理		●食事は、夕食まで食べられます。	●食事を摂ることはできません。 ●水分は、お茶・水のみ () 時まで摂ることができます。それ以降は摂ることができません。 	●帰室2時間後より水分及び食事をとることができます。看護師が時間をお知らせ致します。	●普通食が食べられます。制限はありません。 		
説明・指導・教育	<手術の必要物品> コップ 曲がるストロー 入れ歯入れ(必要時) ※ひとつずつに名前を書いて下さい。 ※手術前日に看護師が確認します。 ※手術当日に看護師が預かります。	●病棟の案内をします。 ●手術前後の経過について説明します。(主治医・看護師) ●手術室看護師の訪問があります。 ●薬剤師から薬の説明があります。 	●手術着に着替える前(手術室に入室する30分前) 排尿を済ませ下さい。 ※手術室に入室する時刻() 時 () 分の予定) ※ご家族の方は、手術が始まりましたら、A棟5階病室でお待ち下さい。お迎えの時刻が近づいたら、お迎えの看護師にお知らせください。ご迷惑を願います。	●尿道に管が入っているので引張らないようにして下さい。 ※ご本人・家族の方へ主治医から手術結果の説明があります。看護師が案内します。 	●麻酔の影響で吐き気・頭痛が起こる事があります。安静臥床で緩和します。水分を多めにとりましょう。 	●尿道の抜けた後、しばらくは血尿・排尿時痛などがおきますので、水分を十分とりましょう。	●退院療養計画書をお渡しいたします。 ●退院後の生活についての説明があります。(医師・看護師) 
サイン欄							

※この用紙に記載された内容は予定であり病状に応じて内容・入院日数の変更はありますが、日々説明を行っていきます。ご不明な点はお気軽にお伝え下さい。